

## 徳島県教育委員会障がい者活躍推進計画の実施状況の公表について

1 計画作成機関  
徳島県教育委員会

2 評価年度  
令和2年度

3 目標に対する達成度

取組目標	令和2年度目標	令和2年度実績
採用に関する目標	令和2年度法定雇用率：2.4% 【評価方法】 任免状況通報により把握	実雇用率 2.46%
定着に関する目標	不本意な離職者を極力生じさせない 【評価方法】 退職時に退職理由等を確認することにより把握	令和2年度において、不本意な離職者は生じていない。 ※障がい者雇用にかかる離職者7名

4 取組内容の実施状況

(1) 障がいのある教職員の活躍を維持する体制について

①推進体制の整備

ア 障がい者雇用推進チーム

障がいのある教職員、障がいのある教職員が属する所属の上司及び障がい者雇用に関係する所属の教職員等で構成される「教育委員会障がい者雇用推進チーム」の設置準備を行った。

イ 障がい者雇用推進者の選任

障がい者雇用推進者として、副教育長を選任し、法定雇用率達成のため障がい者の採用計画の作成をはじめ、職場環境の向上のためのハード・ソフト両面からの取組を推進した。

②支援体制の構築

ア 障がい者職業生活相談窓口の設置

障がい者職業生活相談員として、教育政策課及び教職員課の職員を選任し、障がいのある教職員が活躍できる職場環境づくりのため、障がいのある教職員本人や所属からの適正な職務内容や職場内の環境整備、人間関係などについての相談を受け付け、所属や関係機関などに対し必要な助言や指導を行い、障がいのある教職員と在籍する所属のサポートを行った。

## イ 支援員等の配置

「県教育委員会版ワークセンター」等に障がいのある教職員が安心して働けるよう、業務をサポートする支援員等を配置した。

### (2) 障がいのある教職員の活躍の基本となる職務の選定・創出について

- ・ 所属長面談や人事評価制度を通じて、本人の能力を適正に把握し、障がいのある教職員一人一人の特性や希望に応じ、本人に合った業務へのマッチングを図った。
- ・ 教育委員会事務局内に設置している「県教育委員会版ワークセンター」において、新たな職域として事務補助等のデスクワークを中心とする業務を創出した。

### (3) 障がいのある教職員の活躍を推進するための環境整備・人事管理について

#### ①障がいのある教職員がいきいきと活躍できる職場環境づくり

- ・ 障がい特性に応じた職務スペースの整備を進めた。
- ・ 在宅勤務制度や時差出勤制度を活用し、障がい特性に応じた多様で柔軟な働き方を推進した。

#### ②障がい者の受入れや障がい特性に応じた募集の実施

- ・ 障がいのある教職員の募集にあたっては、障がい種別の限定を行わない、「自力による通勤が可能」といった不適切な要件を課さないなど、障害者雇用促進法に基づく「障害者差別禁止指針」や「合理的配慮指針」を踏まえ、県教育委員会での就職を望む障がい者の応募の機会が奪われないように実施した。
- ・ 選考にあたっては、障がい特性に配慮した方法（要約筆記による可視化など）で実施した。

#### ③障がいのある教職員のキャリア形成・人材育成

- ・ 採用時の面接や人事評価制度等を通じて、障がいのある教職員の能力を評価・把握し、本人の意欲や能力に応じた適切な配置を行い、様々な経験を積むことで障がいのある教職員のキャリア形成を支援した。
- ・ 障がいのある教職員の希望等に応じて、OJTや各種研修などを受ける機会を確保した。

#### ④その他障がいのある方の活躍の場の拡大にかかる取組

- ・ 徳島県障がい者優先調達推進方針に基づき、障がい者就労施設等からの物品等の積極的な優先調達について一層の推進を図ることで、障がいのある方の活躍できる場の拡大を推進した。